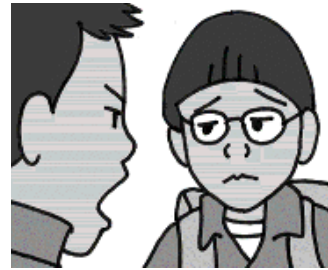


道徳通信

No.5 2022年(令和4年)5月23日(月)



学習日：5月19日(木) 内容：「遠足で学んだこと」

遠足の最中、藤野君は班行動を守り、決まりを尊重しようと周囲に気をつかう。一方、吉川君は自分の得意な面を発揮して植物の説明に気をつかう。お互いに友達のことを思って気をつかうことは同じでも、藤野君には几帳面で大筋を変えない一貫性があり、吉川君には趣味を生かした心のゆとりと人を喜ばせる性質がある。個性と個性がぶつかり合う中で、異なる立場を尊重して、相手の生き方に謙虚に学ぼうとする態度について考えていきたい。

【生徒の考え】 「遠足で学んだこと」について考え、感じたこと

相手の意見を尊重しながら、時には指摘をして、自分の意見も言うことが大切だと思う。

自分の同じ考えの人は、あまりいないから、相手の意見も聞き、自分の意見を言うことも大切だと思う。自分に合わせてくれる人とずっと付き合っていたら、自分の意見だけを大切にしようになってしまうと思う。

自分の言いたいことがあっても、相手の言いたいことを一度聞き、受け入れる必要があると思う。

自分と少しでも違う意見だったら、どうしてそう思うのかをきちんと聞き、すぐに怒らず、話し合っ解決すればいいと思う。一方だけを尊重し、その人と違う意見の人を責めるのはいけないと思う。

「みんなちがってみんないい」は、今のLGBTの人達にも使える言葉だなと思いました。いい言葉だなと思いました。

自分の意見だけでなく、ほかの人の「自分らしさ」も大切にして理解し合うことが大事だと改めてわかりました。

言葉は「キャッチボール」だとよく言われます。話し相手の言葉をきちんと受け止めた上で、自らも発言しなければならないことを強調した言葉です。自分の会話を思い返してみましよう。自分のことだけを発信する「スピーチ」になっていませんか。相手の言葉をしっかりキャッチし、発言する姿勢を身につけていきたいものですね。